

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E111B029		ICTを活用した教育の理論と方法 (Theory and method of education utilizing ICT)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	1	1	教育学部		金2	日本語	英語	複数(共同)						
担当教員	氏名 中原久志,市原靖士,杉山昇太郎													
	E-mail nakaharah@oita-u.ac.jp 内線 7587													
授業の概要	学校教育におけるICTの利用に関して理論やその背景を理解し,教育活動において効果的に活用できるための基礎的内容を取り扱う。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	児童・生徒に情報活用能力を育成するための指導方法に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。							○	○	○	○	○		
目標2														
目標3														
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								5	1	2	1	1		
授業の内容														
1	個別最適な学び,協働的な学び,主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善のための情報技術の活用の意義と在り方													
2	特別な支援を必要とする児童生徒に対する情報技術を活用した指導,外部人材・機関との連携の在り方													
3	情報通信技術を効果的に活用した指導事例・実践事例													
4	校務支援システムの効果的活用と学習履歴,学習評価,教育情報のセキュリティについて													
5	遠隔・オンライン教育の意義とシステム構成													
6	各教科等の特性に応じた情報活用能力(情報モラルを含む)とその指導方法について													
7	児童・生徒に対する情報通信機器の基本操作の指導方法													
8	前半:情報通信技術を活用した授業設計・教材作成 / 後半:定期試験													
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
ラ イ ク ニ テ ィ ン グ	A:知識の定着・確認		情報モラルやデジタル教材に関するグループディスカッション			工 夫 そ の 他 の	教材開発のプレゼンテーションをする							
	B:意見の表現・交換													○
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		前時の内容を振り返る(20h)											
	事後学修		課題レポートを作成する(20h)											
	想定時間合計													
教科書	小学校学習指導要領解説総則 ISBN: 4491034613 中学校学習指導要領解説総則 ISBN: 4827815801 webで参照可													
参考書	教員が配布する													

成績 評価 の 方法 及 び 評価 割合	評価方法		割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	試験及び課題		50%	○									
	レポート		50%	○									
注意事項													
備考													
リンク													
		URL											